

事業名		県営畑地帯総合土地改良事業		路河川名等				
事業毎の通番		3	市町村名	山ノ内町	箇所名(ふりがな)	横手・畔ノ上(よこて・あぜのうえ)		
事業概要	事業目的	夜間瀬地区は、高社山の西南面に広がる、市場評価の高いりんご、ぶどう等を生産する県下有数の果樹地帯である。この産地を支えてきた畑地かんがい施設は、昭和55年度～平成3年度にかけて畑地帯総合土地改良事業で整備されたが、整備後25年以上が経過し、施設の老朽化が著しく散水に支障をきたしている。このため、平成25～26年に策定した機能保全計画に基づき施設の長寿命化対策を行い、高品質な果樹を安定して市場に提供することにより、これまで築き上げてきた評価と信頼を守り、県下有数の果樹産地の持続的発展を図る。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産	事業実施の根拠法令等	土地改良法				
	関連する事業、計画等	第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、第5次山ノ内町総合計画						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	夜間瀬かんがい排水事業組合が管理する区域 受益面積 A=110ha						
	着手年度	H29	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	H32	費用対効果	1.0		国庫	その他	県債
全体事業内容(主な工種)	畑地かんがい施設工(電動弁更新) N=308箇所			190,000	95,000	47,500	42,000	5,500
年度事業内容(主な工種)	測量設計 一式 畑地かんがい施設更新(電動弁更新 N=20箇所)			30,000	15,000	7,500	6,000	1,500
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	作物生産性の向上、営農経費の節減、維持管理費の節減						
	間接的効果(定量的・定性的)	耕作放棄地の発生防止、農業集落の定住促進						
評価の視点	必要性	○受益戸数:154戸 ○受益面積:110ha ○農地利用集積率(目標値):76.7% ○計画生産額に占める高収益作物の割合:64.6%					評価	A
	重要性	○畑かんの破管数:平均85箇所/年 ○農地利用集積率(目標値):76.7% ○人・農地プラン:見直しH26.10 ○地域指定:特定農山村(H7)、過疎(H22.4.1)、振興山村(S47.2.3) ○日本型直接支払制度:多面的機能支払宇木地域資源保全組合 ○耕作放棄地の解消:解消なし					評価	A
	効率性	○費用便益比 1.0 ○事業期間:4年間(H29～H32) ○工法等の比較検討:機能診断及び保全計画により、更新・補修の工法を比較検討					評価	B
	緊急性	○近年の自然災害:落雷被害2回(H26.6.9、H25.7.26) ○道路の状況:事業対象外 ○現況排水能力:50%に影響 ○用水の状況:老朽化(25年以上経過) ○農業就業人口に占める高齢(65歳以上)者割合:48.2%					評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有:関係者を中心に周知(夜間瀬かん排組合) ○地域の取組:積極的な取り組みがある ○地域の合意形成:合意形成が図られている(受益者) ○住民との協働:住民参加型の事業(組合員の直営施行による補修工事) ○都市住民との交流:交流計画なし					評価	A
	部意見	電動弁の老朽化により散水に支障をきたしている。高品質のりんご等を安定生産するため必要性・緊急性が高い。	行政改革課意見	かんがい施設の老朽化により散水に支障をきたしていることから、必要性、重要性が認められる。	評価結果	○	総合評価	A

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

地区概要図

構造図

電動弁故障状

電動弁修理状況

電動弁修理経年変化

年度	横手	畔ノ上	前取	横倉
H22	100	50	20	30
H23	150	80	40	50
H24	200	120	60	80
H25	250	150	80	100
H26	350	200	100	150

①事業実施に至る歴史的背景・社会的背景

畑地帯総合土地改良事業(昭和55年度～平成3年度)による整備後、25年が経過し老朽化が著しい。特に自動散水制御に係る電動弁においてはモーターやギヤの劣化が酷く、近年修理費が急増している。横手地区(65ha)と畔ノ上地区(45ha)の308箇所については部分的な修理を繰り返しながら稼働させているが、早期更新を必要としている。

②地域からの要望経緯及び地域の関わり

夜間瀬かんがい排水事業組合を通じて改修要望が毎年出されており、平成25年度からストックマネジメント事業により本施設の機能診断及び保全計画策定を行い、計画的な改修に向けての理解・協力を得ている。

③事業説明等の経緯

H25年:ストックマネジメント事業による機能診断・保全計画策定  
H25～26年:山ノ内町・夜間瀬かんがい排水事業組合との協議  
H26～27年:組合員への事業計画説明、要望や意見等を事業計画に反映

④他事業・プロジェクトとの整合、関連

第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、第5次山ノ内町総合計画に基づき、多面的機能支払交付金「宇木地域資源保全組合」の活動と連携することで、人・農地プランに掲げている中心経営体への農地集積を推進する。

⑤自然環境・生活環境への影響と配慮

電動弁の更新事業であることから生活環境への影響はない

⑥地域活性化への影響と配慮

用水の安定供給と維持管理費の節減により、耕作放棄地の発生防止や農業集落の定住促進が図られる。

⑦その他

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 46'33"
	東経:E 138° 23'39"